

修了生の活躍事例

金属を削るおもしろさを大学校で感じることができた。

進路を考えていた時にもものづくりが好きだと思っていた時期であることと高校の先生から勧められことで四国カレッジを選択した。

四国カレッジでは金属を削るという行為がそもそも初めてでそのおもしろさを感じることが出来た。

学校の授業の一つである総合制作ではテイラー渦発生装置を作成した。作成にあたり自分で自由に考え設計、加工ができた経験がとても充実した時間だったと思います。

株式会社村上製作所 生産1課3職場

谷川 翔 さん (26)

四国職業能力開発大学校

専門課程

生産技術科 (現：生産機械技術科)

平成28年度 修了



四国能開大の在校生、未来の在校生に向けて

働き始めてみて材料力学に関してよく使うことが分かりました。もっと学生の中に学んでおけばよかったと後悔しています。

就職活動に関しては情報収集を早くすすめ2年次で修了(卒業)する予定であれば、1年次の10月くらいからもう活動を進めたほうが良いと思います。情報収集をすすめ明確に行きたい気持ちが芽生えたうえで書類選考、面接に向かった方がよいと考えています。

またアルバイトを経験しておいた方がよいと思います。アルバイト経験がないまま会社に入ってしまうと経験がある人に比べて如実に先輩や上司への接し方が上手ではない状態になり差が歴然の結果となると思います。

就職先での活躍

谷川翔さんの業務

ラジアルボール盤やマシンングセンタを使ったフック部品の穴あけや回転シリンダーの加工を行っています。



四国能開大の良いところ

大学校で専門的なことを先に学んでいたおかげで会社に入社した際にすぐ適応することができた。また未経験で入社した場合経験年数がないため技能検定を受けるのに年数が必要になるが大学校での経験が適用されすぐに技能検定を受けることが出来たこと。

